

①建築確認・検査手数料（非課税）

【確認申請手数料】

（単位：円）

| 床面積 | 業務区分 | 新2号等 | 新3号 | 型式適合 |
|---------------------|-----------|--------|--------|--------|
| 100㎡以下 | 基本額 | 38,000 | 25,000 | 20,000 |
| | 構造計算書審査加算 | 19,000 | 19,000 | — |
| 100㎡超 200㎡以下 | 基本額 | 48,000 | 32,000 | 25,000 |
| | 構造計算書審査加算 | 24,000 | 24,000 | — |
| 200㎡超 300㎡以下 | 基本額 | 60,000 | 40,000 | 32,000 |
| | 構造計算書審査加算 | 30,000 | — | — |
| 300㎡超 500㎡以下 | 基本額 | 75,000 | 50,000 | 40,000 |
| | 構造計算書審査加算 | 37,000 | — | — |
| 500㎡超 | 基本額 | 90,000 | 60,000 | 48,000 |
| | 構造計算書審査加算 | 45,000 | — | — |
| 面積共通：省エネ仕様審査加算（棟ごと） | | 8,000 | — | 8,000 |
| 面積共通：天空率計算審査加算 | | | 12,000 | |
| 昇降機：1台ごと | | | 20,000 | |

※ 建物区分について、新2号や新3号は、令和7年4月1日施行の建築基準法第6条第1項各号の建築物のことであり、法第6条の4に規定する特例の有無で区分けしています。従って、新3号建築物であっても建築士でない者の設計に係る場合は、新2号等とみなします。

（以下、他の手数料表において同じです。）

※ 本表における床面積は、以下の場合を除き申請部分の延べ面積とします。

- ・ 既存建築物に増築する場合は、既存部分（同一棟に限る）の床面積の1/2を増築部分の床面積に加算した面積
- ・ 大規模な修繕、大規模な模様替えの場合は、修繕又は改修に係る建築物の床面積の1/2の面積

※ 構造計算書は、許容応力度計算によるものをいい、構造耐力上一体とみなす建物単位で数えます。（以下、他の手数料表において同じです。）

※ 省エネ仕様審査加算は、国土交通大臣の定めた仕様基準により、適判通知書等の添付を省略して確認申請を受けるものです。

※ 類似性のある計画が年間を通じて一定申請される等により、審査が軽減できる場合の手数料は、別途定めます。

【計画変更確認申請手数料】

(単位：円)

| 床面積 | 業務区分 | 弊社で直前確認を行ったもの | | | 他機関 確認 |
|---------------------|-----------|-----------------|--------|--------|-----------------------|
| | | 新2号等 | 新3号 | 型式適合 | |
| 100㎡以下 | 基本額 | 15,000 | 12,000 | 12,000 | 弊社の当初の確認申請手数料表による手数料額 |
| | 構造計算書審査加算 | 10,000 | 10,000 | — | |
| 100㎡超 200㎡以下 | 基本額 | 22,000 | 16,000 | 12,000 | |
| | 構造計算書審査加算 | 14,000 | 12,000 | — | |
| 200㎡超 300㎡以下 | 基本額 | 30,000 | 20,000 | 16,000 | |
| | 構造計算書審査加算 | 20,000 | 12,000 | — | |
| 300㎡超 500㎡以下 | 基本額 | 38,000 | 25,000 | 20,000 | |
| | 構造計算書審査加算 | 27,000 | 12,000 | — | |
| 500㎡超 | 基本額 | 45,000 | 30,000 | 24,000 | |
| | 構造計算書審査加算 | 35,000 | — | — | |
| 面積共通：大幅な設計変更の場合 | | 確認申請手数料表の80%相当額 | | | |
| 面積共通：省エネ仕様審査加算（棟ごと） | | 8,000 | | | |
| 面積共通：天空率計算審査加算 | | 12,000 | | | |
| 昇降機：1台ごと | | 14,000 | | | |

※ 本表の基本額算定における床面積は、変更により増加した部分の床面積に、それ以外の申請部分の床面積の1/2を加算したものとします。

※ 構造計算書は、許容応力度計算によるものをいい、構造耐力上一体とみなす建物単位で数えます。

※ 直前の確認を構造計算書無しで行っている場合の構造計算書審査加算は、本表によらず、確認申請手数料表の該当箇所を適用します。

※ 令和6年度以前に着工したものは、新2号等に該当するものでも、新3号とみなして上記の表を適用します。

※ 大幅な設計変更とは、確認申請の出し直しには至らない階数の変更、構造種別の変更、主要用途の変更または工事種別の変更若しくは当初申請の3割以上の床面積又は建築面積の増加（棟単位：申請建物、既存建物とも）、3割以上の敷地面積の減少、特例適用区分の変更、その他これらと同等程度に新たな審査を要するものです。

※ 令和6年度以前に確認を受け、令和7年度以降に着工したものであって、新2号等に該当する場合は、新2号等に該当する建築物の床面積の合計に応じて、追加書類審査に係る以下の審査手数料を加算します。（別手続きで審査済みの場合を除く）

○基本額加算

○構造計算書審査加算（上表に代えて下記を適用）

| | | |
|---------------|---------|---------|
| 100㎡以下は | 13,000円 | 19,000円 |
| 100㎡超 200㎡以下は | 16,000円 | 24,000円 |
| 200㎡超 300㎡以下は | 20,000円 | 30,000円 |
| 300㎡超 500㎡以下は | 25,000円 | 37,000円 |

【中間検査手数料】

(単位：円)

| 申請床面積 | 業務区分 | 新2号等 | 新3号 | 型式適合 |
|--------|-----------|--------|--------|--------|
| 100㎡超 | 基本額 | 34,000 | 32,000 | 25,000 |
| 200㎡以下 | 構造計算書審査加算 | 26,000 | 26,000 | — |
| 200㎡超 | 基本額 | 42,000 | 40,000 | 30,000 |
| 300㎡以下 | 構造計算書審査加算 | 35,000 | 35,000 | — |
| 300㎡超 | 基本額 | 50,000 | 48,000 | 35,000 |
| 500㎡以下 | 構造計算書審査加算 | 45,000 | 45,000 | — |
| 500㎡超 | 基本額 | 58,000 | — | 40,000 |
| | 構造計算書審査加算 | 55,000 | — | — |

※ 本表における申請床面積は、検査に係る床面積とします。

※ 島しょ部の検査は、6,600円を加算します。ただし定期航路の利便上、検査に支障が生じる場合の加算額については、別途協議の上で定めます。

※ 確認を他機関で受けたものに係る手数料については、上表に、別表【他機関で確認申請を行い、弊社で検査を受ける場合に加算する額】に示された額を加えます。

※ 令和6年度以前に着工したものは、新2号等に該当するものでも、新3号とみなして上記の表を適用します。

※ 令和6年度以前に確認を受け、令和7年度以降に着工したものであって、新2号等に該当する場合は、追加書類審査に係る以下の審査手数料を加算します。(別手続きで審査済みの場合を除く)

○基本額加算

100㎡超 200㎡以下は 16,000円

200㎡超 300㎡以下は 20,000円

300㎡超 500㎡以下は 25,000円

○省エネ仕様の審査加算(棟ごと)

面積に関わらず一律8,000円

【完了検査手数料】

(単位：円)

| 申請床面積 | 業務区分 | 新2号等 | | 新3号 | | 型式適合 |
|-----------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 中間有り | 中間無し | 中間有り | 中間無し | |
| 100㎡以下 | 基本額 | — | 30,000 | — | 28,000 | 28,000 |
| 100㎡超 200㎡以下 | 基本額 | 40,000 | 42,000 | 34,000 | 36,000 | 36,000 |
| 200㎡超 300㎡以下 | 基本額 | 50,000 | 52,000 | 42,000 | 44,000 | 44,000 |
| 300㎡超 500㎡以下 | 基本額 | 58,000 | 60,000 | 50,000 | 52,000 | 52,000 |
| 500㎡超 | 基本額 | 68,000 | 70,000 | 58,000 | 60,000 | 60,000 |
| 昇降機 | 1台ごと | 25,000 | | | | |

※ 本表における申請床面積は、検査に係る床面積とします。

※ 島しょ部の検査は、6,600円を加算します。ただし定期航路の利便上、検査に支障が生じる場合の加算額については、別途協議の上で定めます。

※ 確認を他機関で受けたもの（中間検査を弊社で受けたものを除く）に係る手数料については、上表に、別表【他機関で確認申請を行い、弊社で検査を受ける場合に加算する額】を加えます。

※ 令和6年度以前に着工したものは、新2号等に該当するものでも、新3号とみなして上記の表を適用します。

※ 令和6年度以前に確認を受け、令和7年度以降に着工したものであって、新2号等に該当する場合は、新2号等に該当する建築物の床面積の合計に応じて、追加書類審査に係る以下の審査手数料を加算します（別手続きで審査済みの場合を除く）

○基本額加算

| | |
|---------------|---------|
| 100㎡以下は | 13,000円 |
| 100㎡超 200㎡以下は | 16,000円 |
| 200㎡超 300㎡以下は | 20,000円 |
| 300㎡超 500㎡以下は | 25,000円 |

○構造計算書審査加算

| |
|---------|
| 21,000円 |
| 26,000円 |
| 35,000円 |
| 45,000円 |

○省エネ仕様の審査加算（棟ごと）

面積に関わらず一律8,000円

【他機関で確認申請を行い、弊社で検査を受ける場合に加算する額】

(単位：円)

| 床面積 | 業務区分 | 新2号等 | 新3号 | 型式適合 |
|---|------|--------------|---------|--------|
| 100㎡以下 | 基本額 | 22,000 | 15,000 | 12,000 |
| 100㎡超 200㎡以下 | 基本額 | 28,000 | 19,000 | 15,000 |
| 200㎡超 300㎡以下 | 基本額 | 36,000 | 24,000 | 19,000 |
| 300㎡超 500㎡以下 | 基本額 | 45,000 | 30,000 | 24,000 |
| 500㎡超 | 基本額 | 54,000 | 36,000 | 29,000 |
| 壁量計算等による軽微変更の審査加算額 | | 下記注1による | | |
| 適判対象部分がない又は仕様規定の適用により適判等が省略された場合の省エネ審査加算額 | | 省エネに係る変更がない | 0 | |
| | | 適判不要な範囲で変更有 | 8,000 | |
| 添付された適判通知書等（軽微な変更該当証明書を含む、次号も同じ）からは変更のない場合の省エネ審査加算額じ) | | 住宅用プログラム | 22,000 | |
| | | モデル建物入力法小規模版 | 15,000 | |
| | | モデル建物入力法通常版 | 30,000 | |
| | | 標準入力法 | 60,000 | |
| 面積共通：適判通知書等がない、又は適判通知書等から変更がある場合の省エネ審査加算額 | | 住宅用プログラム | 45,000 | |
| | | モデル建物入力法小規模版 | 30,000 | |
| | | モデル建物入力法通常版 | 60,000 | |
| | | 標準入力法 | 120,000 | |

注1 構造計画において、壁量計算等により構造安全性を確認することで「軽微な変更」を行っている場合は、当該建築物の床面積及び特例の区分ごとに確認申請手数料表の「構造計算ありの加算額」の欄に示した金額を加算します。

※ 本表における床面積については、以下の場合を除き、確認申請の申請部分の延べ面積とします。

- ・ 既存建築物に増築する場合は、既存部分（同一棟に限る）の床面積の1/2を増築部分の床面積に加算した面積
- ・ 大規模な修繕、大規模な模様替えの場合は、修繕又は改修に係る建築物の床面積の1/2の面積

※ 令和6年度以前に着工したものは、新2号等に該当するものでも、新3号とみなして上記の表を適用します。